

## 特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会 (SFSS)

2020 年度事業報告 事業期間：2020 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日

### ◎広報活動

1. 季刊誌：1 月（冬号）、5 月（春号）、8 月（夏号）、11 月（秋号）の 4 回発行済み。  
編集長：山崎、編集委員：芦内、守山、若林、miruhana
2. メルマガ：山崎から毎月 1~2 回のご案内メール配信（配信先：約 2000 名）
3. ホームページ：活動予定、活動報告、食の安全・安心 Q&A、食のファクトチェック、食品安全リスク動画等の逐次更新。理事長雑感毎月更新。編集長：山崎、編集委員：miruhana
4. ツイッター：ツイ BOT で活動告知・食の安全安心情報等を毎日発信（1800 件/月、25 万 PV/月）。  
編集長：山崎、編集委員：miruhana
5. メディアむけ情報提供：
  - ニッポン消費者新聞 2 月 1 日号：「SFSS 食の安全と安心フォーラム第 18 回」取材記事
  - 2 月：『栄養と料理』3 月号：「安全？危険？なぜ不安？食品添加物のギモン」山崎監修
  - 7 月：『栄養と料理』8 月号「悪玉コレステロールを下げる食品の選び方」山崎監修
  - 9 月：月間エネルギーレビュー10 月号「食のしきい値を考える」山崎著

### ◎学術啓発イベント

1. 食の安全と安心フォーラム第 18 回 (1/26) @東大中島董一郎ホール、「消費者市民の安全・安心につながる食品表示とは」、主催：SFSS、後援：消費者庁、食品産業センター、食の安全・安心財団
  2. 臨時リスクコミ・フォーラム(5/16)@オンライン (Meet)  
『新型コロナウイルスの予防法と検査法』講師（野田衛先生）、主催：SFSS
  3. 食のリスクコミュニケーションフォーラム (6/28、8/30、9/26、10/25) @オンライン (Meet)  
テーマ：①ゲノム編集食品、②健康食品、③食の放射能汚染、④食品添加物  
主催：SFSS、後援：消費者庁、東大食の安全 RC、協賛：日本生協連、東京サラヤ、QPFS
  3. 食の安全と安心フォーラム第 19 回 (7/26) @オンライン (Meet)  
『飲食業にとっての新型コロナ時代のリスク低減策 ～食品衛生ならびに法規制上のリスクにどう対処する～』、主催：SFSS、後援：東大食の安全 RC、協賛：QPFS、東京サラヤ
  4. 機能水シンポジウム 2020 (10/17)@日本薬学会長井記念ホール、主催：日本機能水学会  
「次亜塩素酸水の有効性／安全性に関するファクトチェックにどう取り組むか」（山崎）
  5. 徳島県消費者大学校大学院講座（徳島県・消費者庁の共催）11 月に講義動画収録  
「食品安全リスクコミュニケーター養成・食品表示コース」：受講者に WEB 配信  
\*SFSS が講義収録運営を受託（予算 112 万円）、山崎が講義 1 コマ、ワークショップ 1 コマを担当
  6. 日本食品科学工学会産官学イノベーションセミナー (11/5) @キューピー本社ホール  
テーマ：「価値発信の進化と市場創造への提言」、SFSS が司会進行・事務局運営を支援
  7. 食の安全・安心懇話会 (11/17) @オンライン (Meet)、企画：阿紀  
主催：SFSS、テーマ：食品事業者むけ（異物混入対応）、講師：カルビー(株)中野様ほか
- \*食肉情報等普及・啓発助成事業（日本食肉協議会）はコロナ禍により中止（助成金キャンセル）

### ◎共同研究・委託研究・受託研究

1. 東京大学（桑原正貴先生）との共同研究（山崎）研究費支出額：100 万円／令和 2 年度  
テーマ：「食の安全・安心につながるリスクコミュニケーション手法の開発」  
日本リスク学会 (11/21@Zoom) にて成果発表：①食品添加物（大瀧）、②ゲノム編集食品（山崎）
2. 伊藤記念財団からの研究助成（山崎）助成金受領額：150 万円／令和 2 年度  
「ハム・ソーセージに配合する食品添加物に関するリスクコミュニケーション手法の開発ならびに効果検証」
3. 法人会員年会費：ファクトチェックにシティブ® (FIJ) 10 万円、品質と安全文化フォーラム 12.5 万円

### ◎NPO 法人の管理・運営業務

1. NPO 通常総会・理事会 (1/26) @東大農学部フードサイエンス棟
2. 東京都への昨年度事業報告提出 (3/25)
3. 臨時理事会 (12/18) @オンライン (Meet)

以上